



かっぱ通信

みんなと
川を結ぶ情報誌

Vol.71

2022年3月

発行：奈良県水循環・森林・景観環境部

編集：水資源政策課 水循環政策係

TEL:0742-27-8489 (直通)

～ 『水』は循環しています ～

みんなが普段使っている水がなくならないのは、このように地球上の水がさまざまなかたちで循環しているからです。

- ① 雲からふってきた雨や雪は地面をつたって川に流れ出たり、地下にしみこんだりします。
- ② 川の水は浄水場できれいにされ、みんなの家に水道水としてとどけられます。また、川の水は農業にも使われます。
- ③ みんなの家などで使って汚れた水は、下水処理場などできれいにされ、川に戻されます。
- ④ 川はさいごに海に流れ出て、海の水は太陽であたためられ、蒸発してまた雲になって雨を降らします。

クイズ

Q. 地球上の水の量を浴槽1杯分とすると、人が生活に使える水の量はどのくらいかな？

- ① バケツ1杯分
- ② ペットボトル1本分
- ③ 大さじ1杯分



答えは裏にあるよ！



今年もみんなの学校へ!!～「川の環境学習」をサポートします～

奈良県水資源政策課では、みんなが遊べるようなきれいな川を未来に残すため、川の勉強をお手伝いする「川の学校（河川環境学習サポート）」を行っています。プログラムは2つあり、どちらも楽しい内容になっています♪学校からの申し込み、待っています！ ※3月下旬に、県内各小学校へ実施案内を送付予定です。

<リバーウォッチング>

①はじめに

生き物に詳しい先生から、川にまつわるお話や、水辺にすむ生き物の探し方などについてお話を聞きます。

②川に入って

ザルを使って水生生物をつかまえます。石の下や草の根元など、いろんなところを探してみよう。

③まとめ学習

川で見つけた水生生物が、どのような水質にすむ生き物であるかを生き物に詳しい先生から学びましょう。トンボやザリガニの話など、身近な生き物の楽しいお話が聞けるかも？



<出前講座>

①スライドでの講義

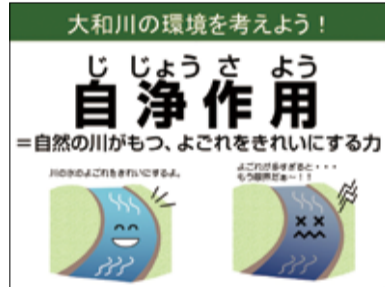
「洪水」や「環境」をテーマに、大和川の洪水への備えや水の汚れの原因などを楽しく学びます。

②水質実験

グループに分かれ、「パケットテスト」を使って水質実験を行います。牛乳やお茶、しょう油など身近なものを実験材料とします。学校の近くを流れている川はきれいなのかな？

③大和川クイズに挑戦！

大和川のこと、どのくらいわかったかな？ 10問クイズのうち、7問以上正解で、大和川リバーレンジャーに認定します。



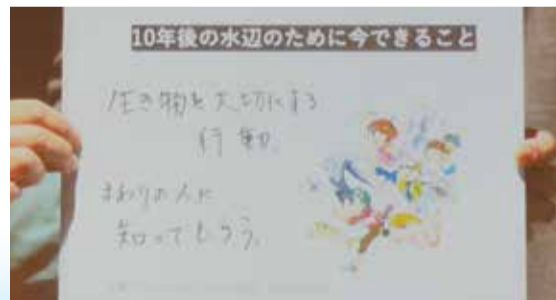
近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良

～10年後の水辺のために今できることを考えよう！～

開催報告

令和4年
1月22日

近畿各地から子どもたちが、身近な水辺で観察したことや、体験したこと、取り組んだ活動などを発表しました。奈良県からは、奈良市立平城小学校が参加しました。オンライン開催でしたが、工夫された熱心な発表が多くあり、参加者は画面を通じて大いに盛り上がっている様子でした。



クイズの答えは③大さじ1杯分です。

水資源政策課では小学校での様々な川に関する取り組み（水質学習や河川清掃等）を応援します！

取り組んだ内容や写真などがあれば、かっぱ通信で紹介したいので、情報をお寄せください。

また、「川に関する学習等をしてみたい！」という学校があれば、お手伝いします！お気軽にお問い合わせください。

奈良県水循環・森林・景観環境部 水資源政策課水循環政策係 TEL：0742-27-8489（直通）

水資源政策課ホームページ：http://www.pref.nara.jp/1637.htm

